

第1回久留米市企業局地下水・土壌汚染検証委員会（要旨）

日 時：令和6年8月29日（木） 14時00分から14時30分
（オンライン会議）

会 場：久留米市企業局庁舎 3階 第1会議室

委 員：広城吉成 委員（九州大学工学研究院環境社会部門 准教授）
武林亨 委員（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 教授）
藤田利枝 委員（久留米市健康福祉部 保健所長）

以上 3名

欠席者：なし

事務局：境上下水道部長、中村上下水道部次長、宮崎上下水道部技術担当次長、
長野経理課長、清水営業管理課主幹、橋本給排水設備課長、
内野上水道整備課長、西川浄水管理センター所長、その他事務局職員等5名

傍聴者：なし

次 第：

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委員紹介
- 4 委員長の選任について
- 5 報告事項
 - （1）旧水道施設における金属水銀の流出及びその後の対応について
 - （2）土壌汚染対策法における区域指定について
- 6 協議事項
 - （1）土壌・地下水の調査結果を踏まえた、周辺住民の健康被害のリスクについて
 - （2）「汚染土壌の入替」について
 - （3）「地下水の観測」について
 - （4）井戸水の飲用制限の解除の判断基準について
- 7 その他

【配付資料】

- ・次第
- ・久留米市企業局地下水・土壌汚染検証委員会委員名簿
- ・報告事項（1）～（2）、協議事項（1）～（4）、別紙1～2

議事録要旨

1 開会

2 挨拶

上下水道部長	挨拶
--------	----

3 委員紹介

4 委員長の選任について

事務局	事務局案 ・ 委員長 広城委員 全委員一致で同意
委員長	傍聴者の確認⇒傍聴希望者なし

5 報告事項

(1) 旧水道施設における金属水銀の流出及びその後の対応について

質疑なし

(2) 土壤汚染対策法における区域指定について

質疑なし

6 協議事項

(1) 土壤・地下水の調査結果を踏まえた、周辺住民の健康被害のリスクについて

委員	人への曝露の経路については、もし起こりうるとすると、土壤經由ではなく、地下水經由の可能性があると考えていた。実際の測定結果から、地下水においても敷地外への拡散は認められず、従来から示されていたように、水銀は、土壤中で比較的移動し難い物質であることが示されたと思う。
委員	資料読ませて頂いたが、このような評価でよいと思う。

(2) 「汚染土壌の入替」について

委員	環境省のガイドラインを踏襲している。この方向でよいと思う。
----	-------------------------------

(3) 「地下水の観測」について

意見・質疑なし

(4) 井戸水の飲用制限の解除の判断基準について

委員	地下水の流向方向に飲用の井戸利用が無い。 ガイドラインに沿って、2年間、基準超過がないことが確認できれば、問題ないと思う。
委員	2つの条件を同時に満たすことということで、慎重なスタンスであり問題ないと思う。

○全体をととして

委員長	私は地下水工学や地下水環境学を専門としている。例えば、重金属やヒ素などの化学種が地下環境でどのような動態を示すのかを研究してきた。 機会があつて、本件は、当初から関わっているが、久留米市は、これまでミスがないように、想定外が無いようにと、慎重に議論しながら進めてきたと思う。本日で一区切りとなるが、委員の皆様には今後ともよろしくお願いしたい。
-----	---

7 その他

事務局	今後とも、地下水モニタリングの結果や、土壌入替等についても適宜報告させて頂く。引き続き、専門的な見解・助言等を伺いたい場合は、各委員に適宜ご相談させて頂きたい。
事務局	本委員会の資料及び議事録を市のホームページに公開するにあたり、事前に全委員にご確認頂きたい。なお、本会議中の資料別紙2については、個人情報が含まれているためホームページでは非公開とする。